

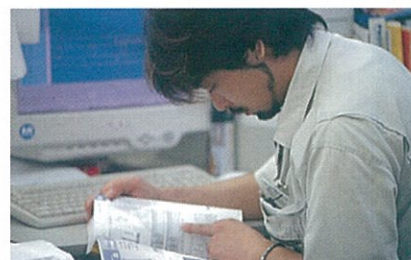
Production Flowchart



最善の生産環境づくりをお手伝いします。

製造業において、戦後いち早く普及したオートメーションや、続いて導入が進められた産業用ロボットなどが、生産の自動化を推進する主要な役割を果たすようになりました。その目的は省力化、あるいは生産性の向上だけには止まらず、作業者の安全確保であり、作業内容の均一化、安定化の推進なども考えられます。

こうしたある一定の工業製品の生産工程において、最善のあり方を追求する「産業技術」は、製造業各社が直面する様々な状況や社会環境、景気動向などにより大きく左右されます。当社はそうした製造業各社を取り巻く環境を加味しながら、そのニーズに適した加工専用機、自動省力化機などの単一機から装置までをオーダー生産することにより、ユーザーの最善の生産環境の創造、システムの構築等を支援しております。



ハード、ソフトの内製によるユーザーメリット。

産業のマザーマシンと呼ばれ、ミクロの精密性が求められる工作機械、その製造からスタートした当社のハードづくりの確かさは各分野から多くの信頼を頂いております。マシンやロボットが人間の代わりに仕事をするために、外界に働きかけて作業を実行する機能と作業を行う場所まで移動する機能という、腕・手先・脚に当たるメカニズムが必要です。

その一方で、これらの機能を指示通りに動かすための頭脳部分となる制御装置がなくてはなりません。当社では、ハードはもとよりソフトの開発・設計・製造部門を社内を持ち、ユーザーへのきめ細やかな対応とソフト・ハードとの調和のとれた製品造りをしております。また内製によりスピーディ、高品質、安定性等のユーザーメリットも生まれます。